

川口市の新型コロナウイルス感染症の動向

まん延防止等重点措置が実施されています

※1月21日現在の状況です。

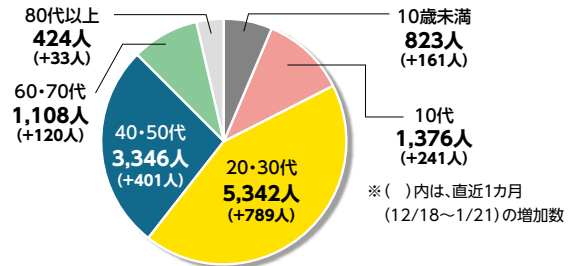
これまでにない速度で感染拡大が進み、1月21日に埼玉県全域が「まん延防止等重点措置」の対象区域に指定されました。第5波で中心であったデルタ株から、ほとんどが感染力の強いオミクロン株に置き換わっています。また、新規陽性者の感染経路を見ると、家庭内感染と会食関連が多くを占めています。あらためて、うつらない・うつさないための対策の徹底をお願いします。

陽性者の状況

検査実施人数	陽性者数(累計)	入院中	軽症・中等症	重症	死亡	退院
21,581人 (+1,318人)	12,419人 (+1,745人)	1,351人 (+1,347人)	1,349人 (+1,345人)	2人 (+2人)	100人 (+0人)	10,968人 (+398人)

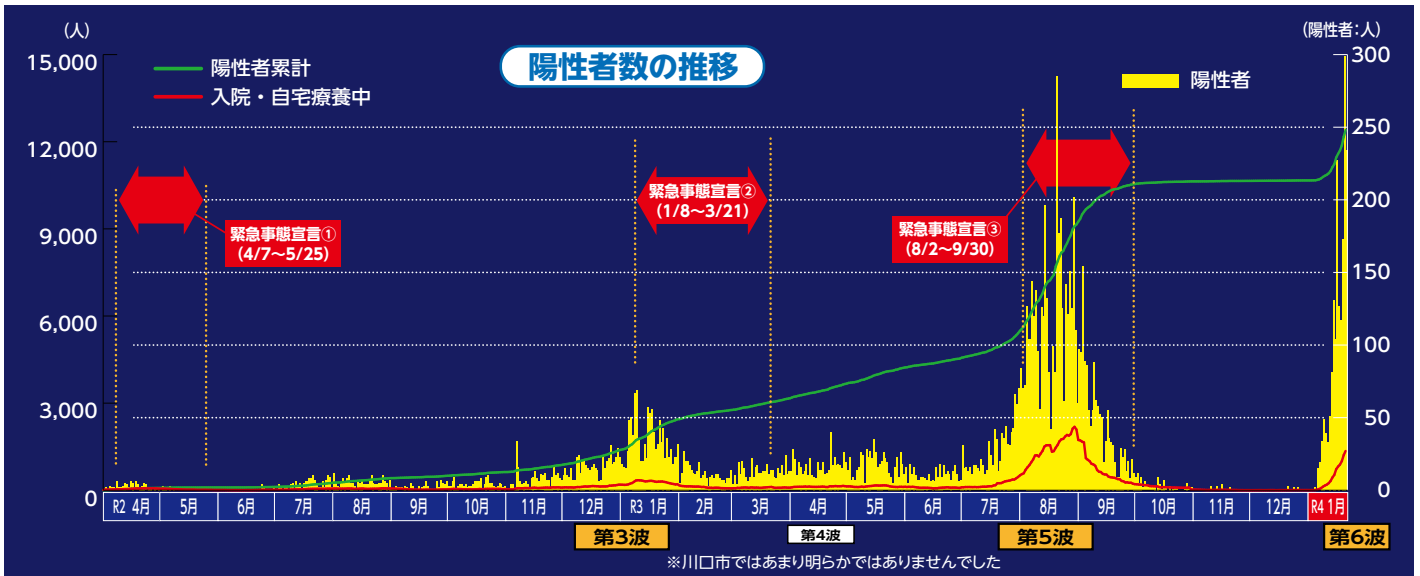
※入院中には、入院予定者などを含みます。(県・県内市などによる公表分を含む)
※()内は、直近1カ月(12/18~1/21)の増加数

陽性者数 [年代別]



第6波の新規陽性者数は、第5波と同様、30代以下の若年層が約3分の2を占めていますが、第5波よりも感染拡大のペースが非常に早くなっています。今後、重症化リスクが高い高齢者に感染を波及させないためにも、今まで以上に慎重な行動をお願いします。

陽性者数の推移



「まん延防止等重点措置」に基づく要請

実施期間:2月13日(日)まで

市民の皆さまへ

- 不要不急の県境をまたぐ移動を極力控えましょう。
- 外出時は基本的な対策を怠らず、目的地以外には立ち寄らない。
- 混雑している場所や時間をさけて行動し、買い物は一人で。
- 感染防止対策が徹底されていない飲食店などは利用しない。

飲食店などの利用

- 原則、20時までの時短営業です。
 - 同一グループ、同一テーブル4人以内を上限に。
- ※酒類提供の有無など、詳細は埼玉県ホームページをご確認ください。



【デルタ株とオミクロン株の比較】

デルタ株と比べてオミクロン株は

感染力が高い **潜伏期間が短い** **無症状、軽症者が多い**

変異株であっても、個人の基本的な感染予防対策は変わりません。3密の回避、マスクの適切な着用、こまめな換気、手洗いなどは引き続き有効です。特に感染リスクが高まる「5つの場面」(飲食を伴う懇親会、大人数や長時間の飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、仕事の休憩時間に入ったときなどの居場所の切り替わり)は回避しましょう。

【経口抗ウイルス薬と中和抗体薬の特例承認】

新型コロナウイルス感染症患者に投与できる初めての飲み薬である「モルヌピラビル」(販売名:「ラゲブリオ」)と、点滴で投与し重症化を防止する中和抗体薬の「ソトロビマブ」(販売名:「ゼビュディ点滴静注薬」)が特例承認され、重症化リスクの高い患者のうち、医師が必要と判断したかたに投与されるようになりました。

新型コロナウイルス感染症に関する相談電話

▶川口市新型コロナウイルス感染症相談電話
☎ 050-3614-4454 (8:30~17:15 日曜日を除く)

▶埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター
☎ 0570-783-770 (24時間受付) FAX 048-830-4808